

(1) 総合戦略の位置付け・効果検証

国は、急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）」（以下「創生法」という。）を制定しました。

市では、創生法に基づき、地方創生の柱ともされる全国的な人口減少や地域経済縮小の克服といった課題を共有し、市における地方創生の取組を実現していくため、平成27年10月に「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定しました。

総合戦略は、「市民生活支援を基調とした安全・安心な暮らしの確保」、「安定した人口構造を保持するためのまちづくりの推進」、「調布のまちの魅力の発信による交流人口の増加と定住化の促進・まちの発展」の3つの視点により基本目標を掲げ、基本計画の実効性を高めるものとして策定しています。また、総合戦略と後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に位置付けた施策との関係を整理し、総合戦略の体系を基本計画の中に一体的に位置付け、基本計画と総合戦略との有機的な連動を図り、引き続き、調布市における地方創生の取組を推進していくこととしています。

この総合戦略の取組成果の検証については、PDCAマネジメントサイクルに基づく行政評価と連動させて実施しました。

◆施策評価との連動

施策評価においては、令和2年度の振返りの中で、基本計画におけるまちづくり指標の現状を把握しました。

◆事務事業評価との連動

事務事業評価を活用した振返り評価結果（対象：97事業）

<令和2年度の取組に関する実績評価> ※詳細は、16ページの一覧を参照

	◎ 十分な成果を得た	○ 概ね成果を得た	△ 期待した成果を得られず
事業数	48	49	0
割合	49.5%	50.5%	0.0%

上記の表のとおり、事務事業評価を活用した振返り評価を行った97事業のうち、「◎」と評価した事業は48事業、「○」と評価した事業は49事業、「△」は該当なしとなっています。

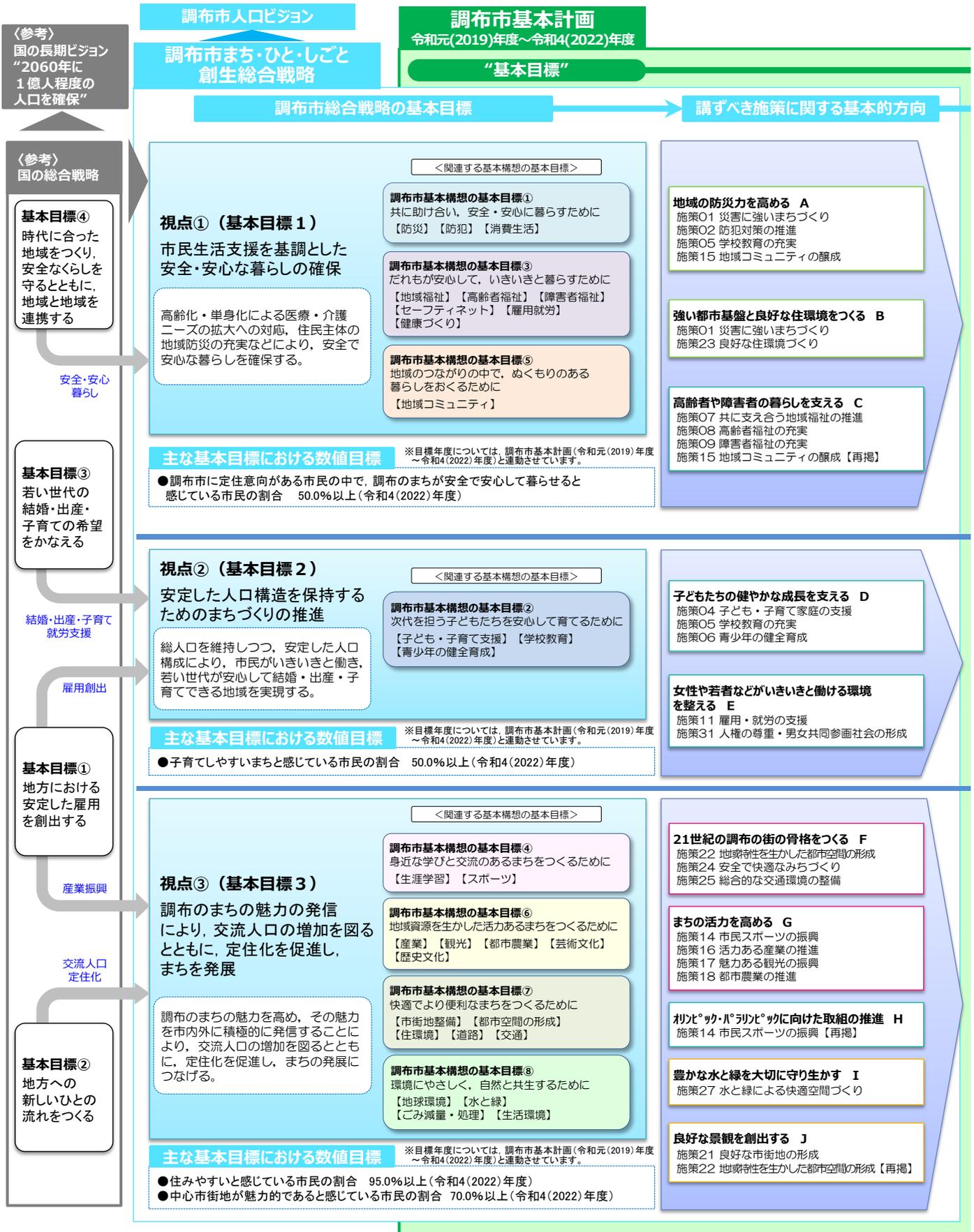
このように、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受ける中で、後期基本計画の2年次目として、取組の創意工夫に努めながら各施策・事業の着実な推進を図ることにより、各事業についても、成果が得られたと評価することができます。

【調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略】

- 平成27年10月に、令和元（2019）年度までの5箇年を計画期間として策定した。
- 人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組むため、市の実情に応じ、3つの視点による基本目標、講ずべき施策に関する基本的方向、重要業績評価指標（KPI）※などを位置付けている。
- ※Key Performance Indicator の略。施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとに設定する成果目標
- 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に一体的に位置付け、基本計画と総合戦略との有機的な連動を図りながら、引き続き調布市の地方創生の取組を推進していく。

(2) 総合戦略の体系

総合戦略における3つの視点による基本目標と、基本計画（令和元年度～令和4年度）に位置付けた全31施策との関係を整理して示しています。





(3)「地方創生推進交付金事業」の取組状況

No	施策	交付金活用事業名 (事務事業名)	所管課	事業概要
1	施策 17	ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業 【平成30年度～令和2年度】	産業振興課	ラグビーワールドカップ2019及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場がある調布市には、国内外から多くの来街者が訪れることが予想される。また、「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめとした「水木マンガの生まれた街」として、アニメコンテンツをキーにした海外からの誘客促進が求められている。こうした機会を捉え、国外への魅力的な情報発信と訪日外国人の市内回遊性の向上に向け、ICTを活用した多言語による情報発信を積極的に行い、観光入込客数の増加と市内地域経済の活性化を図っていくため、以下の取組を行う。 ①多言語観光案内サイトの構築、運用 ②いつでもどこでも情報が閲覧可能なモバイルアプリのコンテンツ作成及び調布市専用ページの運用 ③スマートフォンへ現地観光情報等を自動送信するビーコンの設置、運用 ④多言語観光案内サイトへ誘導するためのパネル、ポスター、ステッカーの設置、運用 ⑤多言語観光案内サイトへアクセスするQRコード入りの広報物の作成、配布 ⑥多言語観光案内サイト・モバイルアプリを紹介するWeb広告の配信 ⑦SNSを活用した情報発信

<これまでの地方創生関連交付金の活用状況>

1 地域住民生活支援等緊急交付金（平成27年度）

●地方創生先行型 11事業（基礎交付：8事業，上乘せタイプⅠ：2事業，上乘せタイプⅡ：1事業）

- ・地方版総合戦略の策定事業
- ・地方版総合戦略の策定に先行して行う事業であって地方版総合戦略に位置付けられる見込みのもの（交付金活用事業）認証保育所等保育料助成事業，深大寺周辺観光PR事業 ほか6事業（基礎交付金）福祉人材育成事業，「映画のまち調布」推進事業（上乘せタイプⅠ：先駆性のある事業）防災意識啓発事業（上乘せタイプⅡ：地方版総合戦略の早期策定が条件）

●消費喚起・生活支援型 1事業

- ・地方版総合戦略の策定を前提に，その事業として，地域における消費喚起やこれに直接効果を有する生活支援策を推進（交付金活用事業）商工会によるスクラッチカード事業

2 地方創生加速化交付金（平成28年度） 2事業

- ・先駆性を高め，レベルアップの加速化を図る事業（交付金活用事業）地域子ども・若者育成支援総合事業，調布の地域資源を活用した魅力発信事業

まち・ひと・しごと創生法に基づき策定した地方版総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業を、複数年度にわたって安定的・継続的に支援することを目的として、平成28年度に国の予算により創設された地方創生推進交付金を活用した事業の一覧

令和2年度 取組内容	総事業費 (千円)	交付金 充当額 (千円)	重要業績評価指標 (KPI)		
			指標名	令和2年実績値	最終年次目標
<p>インバウンド（訪日外国人観光客）観光推進のため、一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団とのインバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定の締結により構築した「Guidoor（ガイドア）」を活用した観光スポットの情報発信を行った。</p> <p>①イベント、観光スポット等で配布できる観光案内サイトへアクセスするQRコード入りのカード型広報物作成 ②Web広告を活用し、多言語観光案内サイト・モバイルアプリを紹介</p>	3,993	1,997	観光案内アプリの日本語圏以外のダウンロード数	6回	4,000回
			多言語観光案内サイトへのアクセス数	48,637回	30,000回
			多言語による情報発信を行う登録店舗数	0件	200件
			深大寺観光案内所利用外国人数	42人	3,550人
合計	3,993	1,997			

3 地方創生推進交付金（平成29年度：1事業 平成30年度：2事業 令和元年度：2事業 令和2年度：1事業）

- ・地方版総合戦略に位置付けられた事業のうち、自主的・主体的な取組で先導的なものについて、財政的に支援（交付金活用事業）ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業（平成30年度～令和2年度）

4 総事業費・交付金充当額・事業数（令和2年度までの実績）

年度	総事業費	交付金充当額	事業数
平成27年度	2億5,430万円余	2億3,160万円余	12事業
平成28年度	6,961万円余	6,931万円余	2事業
平成29年度	1,216万円余	607万円余	1事業
平成30年度	2,440万円余	1,220万円余	2事業
令和元年度	3,400万円余	1,700万円余	2事業（H30から継続）
令和2年度	399万円余	199万円余	1事業（H30から継続）
合計	3億9,846万円余	3億3,817万円余	20事業（継続事業含む）